

第9回 芳賀町ジェンダー川柳コンクール

主催：芳賀町女性団体連絡協議会

早い時期からジェンダーについて考える機会を持ってもらいたい、また家族で話し合う機会に
してもらいたいとの思いで継続し、第9回目の開催となりました。対象は小学4年生から中学3年生
です。各小中学校のご協力で、冬休みの宿題として募集チラシを配布していただいています。

今年度はコロナ禍のため審査会を開くことが出来ず、審査資料を郵送し、審査用紙を返送して
いただく形としました。審査員の皆さまには、柔軟に対応していただきました事、感謝申し上げます。

応募作品625句の中から12句が入賞となりました。入賞作品は男女共同参画事業に活用させて
いただくほか、芳賀町健康カレンダーにも掲載されます。

入賞作品

最優秀賞

家事だって 夫婦協力 主婦と主夫

芳賀中学校2年 橋本久怜愛

優秀賞

お父さん 母の弟子入り 家事デビュー
みとめよう 人のいいところ ちがうところ
らしくない それは勝手な 思いこみ

芳賀中学校1年 佐藤亜珠伽

芳賀中学校1年 片岡 愛彩

芳賀南小学校6年 阿久津 晃

佳作

違いこそ 新たな価値の 原動力
大切に 相手の気持ち 自分の思い
まず参加 知る見る男女の 未来地図
みとめあい たすけあいこそ ひとのあい
なんで黒 そう言われたの 何回め
家事ってね 家族みんなの 仕事だよ
好きな色 自由に選べる ランドセル
父が立つ 台所には 母のメモ

芳賀中学校2年 阿久津嵩弘

芳賀中学校3年 加藤 里菜

芳賀東小学校6年 増淵 陽斗

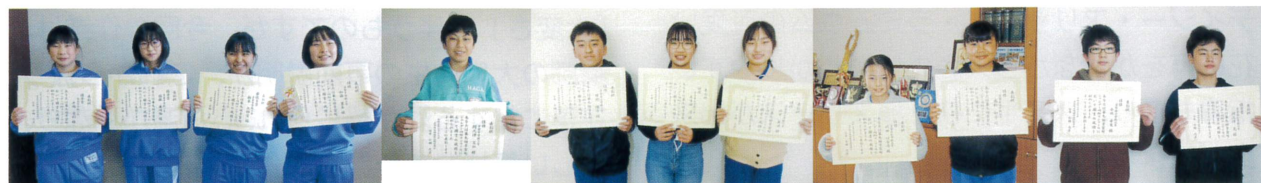
芳賀東小学校6年 五味淵 凜

芳賀東小学校6年 山中 美咲

芳賀北小学校5年 高松 和香

芳賀北小学校5年 代田はな乃

芳賀南小学校6年 小池 希実



編集後記

コロナ禍の今年度は様々な活動が制約され、一大イベントの「か
がやく町民のつどい」も来年度への延期を余儀なくされました。課
題山積の一年ではありましたが、皆さまのおかげで、明るい紙面を
お届けすることができました。ご寄稿いただきました皆さまに心よ
り感謝申し上げます。

編集委員

磯 孝 岡田 順子
石下 篤子 小林ゆかり
石下 尚美 増淵さつき

印刷 株式会社 井上総合印刷
電話 028-661-4723

かがやき

家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部



活動紹介

加入団体



お昼寝アート撮影会



シトラスリボン作り

主な内容

- 総会
- 会員研修
- 日本女性会議
- ジェンダー川柳コンクール

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い例年の事業
が中止、延期、縮小と振り回された一年でした。

その中で感じたのは女性の柔軟さと切り替えの速さとあ
きらめない心でした。いつもどおりに出来なければ、やり
方を変えればいい、今年度出来なければ来年度やればいい
と、落ち込む間もなく次々とアイデアが提案されました。
しかも楽しむことも忘れないプラス思考の会員の皆さんと
前向きに活動することが出来ました。

この大変な時期に再認識した底力を地域づくりに活かし
ていただければと切に願っています。

副会長 小山佳子



会 長
小林 久子

一年をふりかえって

今年度は、芳賀町女性団体連絡協議会の節目後 21 年目という新しい第一歩を踏み出すはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、総会やかかがやく町民のつどいなど主な行事を変更せざるを得ませんでした。

しかしながら、会員の皆さま、行政の皆さまをはじめ多くの方々に支えられ、研修会等の活動ができました。ここに、関わってくださった皆さまに改めて感謝申し上げます。

さて、今年度は日本女性会議も初めての試みであるオンライン開催でした。私は、参加した分科会「性の多様性」において「平等・公平」という概念の外に「包摂」があることを初めて知りました。多用性に対応した包摂性とは、いかなる属性も排除されない状況だそうです。性別、人種、年齢その他、人の属性全てにおいて、どんな属性も排除されないというその社会とは、とても理想的だと思います。

当団体は女性団体ですが、包摂性の理念を持って活動していけたらと願っています。どうぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 芳賀町女性団体連絡協議会総会

今年度の総会は、コロナ禍という未曾有の社会情勢の中、集会では行うことが出来ずに書面での承認という例のない形になりました。従って、「計画は出来たら実施したいけれど…」という不安の中で組まれましたが、「実り多い」という実感はどうだったでしょうか。



研修委員会



広報委員会



ジェンダー川柳委員会

令和2・3年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名
会 長	小林 久子	芳賀くらしの会
副会長	小林 峰子	J A はが野芳賀地区女性会
"	小山 佳子	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
"	増淵さつき	芳賀くらしの会
書 記	石下 篤子	J A はが野芳賀地区女性会
"	尾川 里恵	事務局
会 計	岩松みち子	芳賀つばさの会
"	福田 純子	芳賀町ひばりの会
理 事	見目美智子	J A はが野芳賀地区女性会
"	岡田 順子	芳賀町ひばりの会
"	廣木 初江	芳賀くらしの会
"	石下 尚美	農村生活研究グループ
"	綱川みね子	農村生活研究グループ
"	磯 孝	芳賀つばさの会
"	山崎ひろ子	芳賀つばさの会
"	小林ゆかり	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
"	人見 章子	家庭教育オピニオンリーダー会芳賀支部
監査理事	佐藤 幸枝	芳賀町ひばりの会
"	綱川久美子	農村生活研究グループ



共に活動しませんか

女性団体連絡協議会では加入団体を募集しています。また、それぞれの団体では会員を募っています。他の団体と交流することにより見聞を広げるばかりでなく、語り合える仲間に出会えるはずです。町や県の行事や講演会に参加し、社会の動きを感じることができます。

一緒に輝きましょう。

問い合わせ 芳賀町生涯学習課
TEL 028-677-0009

■会員研修 DVD鑑賞

令和2年9月2日
町民会館研修室

明日へつなげよう証言記録 東日本大震災

埋もれた声 25 年の真実 ～災害時の性暴力～

DVD内容

阪神・淡路大震災以来、長い間見過ごされてきた災害時の性暴力。東日本大震災を機に初の実態調査で真実を明らかにし、暴力根絶のため力を尽くしてきた支援者たちの記録です。



…鑑賞後のアンケート（自由記載）の一部です。…

● 25 年かかっても、きちんとした先が見えてきていない案件なのだった。「災害時のみでなく、平常時にちゃんとしていないとだめだと思った」との若い男性の意見が心に残った。取り組みが必要ですね。

● 絶対に泣き寝入りはさせない、しない。女性が協力して声をあげられることが大事なのだと、感じました。きっと性暴力の他にも色んな問題がかくれているのではと思いました。今日このDVDを視聴できてよかったです。ありがとうございました。

● 皆が苦しんでいる災害時に、そのはけ口として女性が犠牲になっていることを知り、驚きました。

● 女性専用のスペースは、女性の人権を守るスペース。

7 週間 1,700 件 10 代～ 50,60 代、被害の多さに驚いた。

普通の生活とは全くちがった環境になった時、予想もつかないことが、現実にかかるのだと思う。声を上げられないまま終わってしまうのではなく、みんなで声を上げないと現実がわからない。多くの人の声で大きな力になる。

● 災害から生まれた問題に目を向け、次の災害時には立ち上がり、解決にむけて力を合わせ声をあげていく。力強いリーダーシップを育てる。またつなげていく仲間は、常日頃の見聞、疑問を持つことが大切なのだとも思った。

● 災害に強い社会とは、普段から暮らしやすく多様性を受け入れられる社会だと教えられました。次の世代にも、男女共同参画や人権の大切さなど伝えるべきことがたくさんあると思いました。



日本女性会議 2020 あいち刈谷

かけがえのない“わたし”を生きる

～ものづくりのまちから発信～

令和2年11月13日(金)～15日(日)

2019年は佐野市が1996年開催の宇都宮市に次ぎ、栃木県下では2番目の開催都市になるはずでしたが、直前の台風19号による水害のため中止となりました。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、あいち刈谷はオンラインで開催されました。例年は1～2名の参加でしたが、今回はオンライン会議に9名が参加しました。

(参加者:岩松みち子、岡田順子、小林久子、小山佳子、齋藤芳子、酒井由理、廣木初江、増渕さつき、山本克子)



佐野市長の岡部正英様でございます

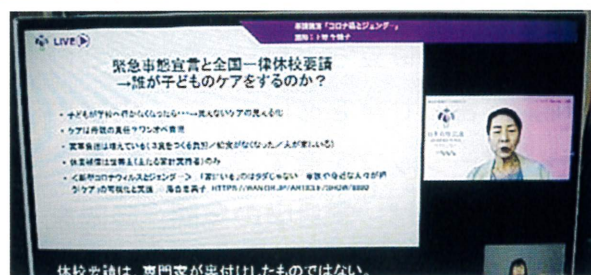
佐野市からバトンパス

最近『コロナが明けたら』という言葉聞いて、収束が近いように思え前向きな気持ちになりました。

このコロナ禍の状況下での日本女性会議の開催を大変嬉しく思っておりました。前回の佐野の悔しさもあり、何としても『継続』という意気込みを感じました。オンラインでの開催決定、大会の企画や講師陣も素晴らしく、素晴らしいだけに、なおさら刈谷に集まらなかったことが残念に思えました。

廣木 初江

基調講演



「コロナ禍とジェンダー」講師 上野 千鶴子氏

コロナの蔓延で、私たちの日々の生活や行動が大きく変化し、社会的にも様々な問題が発生しているのは、周知の事実です。基調講演の中でも社会的弱者について言及されていて、失職やDV、子どもへの虐待、貧困等がコロナ禍で増加する現状が憂慮されます。

「弱者が弱者として尊重される社会」「強がらず弱さを認め、支え合って共に生きる」講演の中で、特に印象に残っている言葉です。

岩松みち子

記念講演



「女性が社会を動かすとき」講師 大谷 貴子氏

全国的に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、沢山の行事が自粛を余儀なくされる中で、オンラインでの大会は、本当に素晴らしい事だと思いました。刈谷市の実行委員の方々他関係者の方のお骨折りに心から感謝申し上げます。オンラインでの参加は、当初果たして自分に出来るのかと、戸惑いもありましたが、初めての体験に挑戦させていただき、インターネットの世界が広がりました。

記念講演「女性が社会を動かすとき」では自分自身の闘病生活をきっかけに、東海骨髄バンクを立ち上げられた大谷貴子氏のお話に沢山の勇気をいただきました。

齋藤 芳子

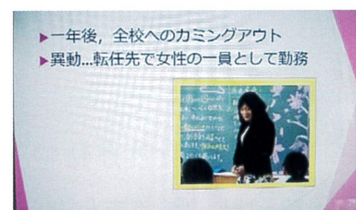
分科会

「なぜ学校はLGBTにとって息苦しいのか。」それは「制服などの規制が多いから。」

生物学的性別(身体の性)、性別についての自己認識、他者に示す性別、性的指向(恋愛)など、何が望ましい性なのでしょうか。

非典型的だからと言って間違いではありません。どのような性的指向性自認でも、尊重され、生と性の多様性を認め合う社会へと共に変化していければと思いました。

山本 克子



性の多様性

会員研修

ハンギングリース作り

令和3年3月5日(金) 旧水沼小体育館

講師紹介

市貝町在住

○日本ハンギングバスケット協会栃木支部マスター

○日本家庭園芸普及協会グリーンアドバイザー

【賞歴 2018】

- ・国際バラとガーデニングショールウンド部門入賞
- ・日比谷ガーデニングコンテストコンテナガーデン部門準優勝賞
- ・つくばガーデンコンテストハンギングバスケット部門つくば市長賞



講師

大鹿千鶴子氏



本日の作品



受賞作品



コロナ禍の中で、生活に様々な制約を受け一年が経ちました。そんな無味乾燥な生活の中で「ハンギングリース」に関する研修会は、広大な砂漠の中で出会った「オアシス」でした。緑はいい、心が癒されます。

ものを作る作業は、どんなものでも多少の「大変さ」は伴うものですが、今回の作業は、講師の大鹿先生の事前説明が、これから扱う花達に対する愛が感じられ、心が温くなり、優しい気持ちで作業に取り組みました。

出来上がった「リース」が、また我ながら素敵な出来映え(笑)でした。参加された皆さんも、大変満足された様子に見受けられました。そして私は、春に向けて「庭いじり」に取りかかるいい機会となりました。感謝です。

研修会でのハンギングリース作りに参加。ダイジー・アリッサム・ラミウムなどの可愛い花に声をかけながら大鹿先生のわかりやすい指導もあり、ステキに寄せ植えリースが出来上がりました。

色々なイベントが中止の中、久しぶりに逢えた方もいて少し元気をもらいましたし、土いじりも楽しかったです。

研修委員さん、早くから準備等ありがとうございました。

佐藤 幸枝

磯 孝